

# 敝れし衣

(大正十四年寮歌)

外山徳次郎君 作歌

三溝清美君 作曲

一

敝れし衣の袖に散る  
不香の花の小夜嵐  
淋しく強く生きぬ可く  
手稻の峯に響くかな

二

送る梅花の芳せに  
熱腸しほる杜鵑  
誘ふ春風恨みては  
散るも惜しまぬ山桜

三

きのふぞ移る秋風に  
草木悲歌を奏ひつつ  
月の面ゆく鳥の影  
故山の空に微み行く

四

駄鞭荒野に打ふりて  
赴くや皇土の城の外  
青山我が有に帰し  
緑水我を弔はん

五

国に誓ひし丈夫の  
夢中原にさまよひて  
仰ぐみ空にまたたける  
北極星のかけ清し